

秋田県市町村職員 海外研修報告

藤里町長 佐々木 文明

ストラリアのシドニーに到着です。所要9時間半位なのですが、時差が+2時間なので、記載時間については現地時間で表記します。シドニーからは昼過ぎの飛行機でニュージーランドのオークランドに到着しましたが、所要3時間と少しなのですが、ここでも更に時差が+2時間となりますので、夕方5時過ぎ到着で、市内のホテルに着いたのが6時となりました。日本時間に比較しますと、4時間進んだことになります。

平成28年度秋田県市町村職員海外研修において、湯沢市の齊藤光喜市長と共に団長として参加させていただき、ニュージーランド、オーストラリアの地方自治制度・財政政策、観光政策、農業政策等について、10月16日（日）～23日（日）までの8日間にわたる研修をして参りましたので、その概要について報告いたします。

この研修は、秋田県市町村振興協会が主催し、「市町村職員の視野を広げ、国際的な視野と識見を持った人材を養成する」ことを目的に毎年実施されているもので、秋田県市長会と町村会からそれぞれ1名ずつ団長が推薦され、県内市町村から選抜された職員など総勢30名程が2班に分かれて研修しております。ちなみに昨年度は北欧において、環境、子育て、福祉について研修しました。

△10月16日（日）～17日（月）
ほぼ移動に費やしました。午後に秋田空港発で羽田に行き、夜11時少し前に羽田を発つて、翌日10時に経由地であるオ

ストラリアのシドニーに到着です。所要9時間半位なのですが、時差が+2時間なので、記載時間については現地時間で表記します。シドニーからは昼過ぎの飛行機でニュージーランドのオークランドに到着しましたが、所要3時間と少しなのですが、ここでも更に時差が+2時間となりますので、夕方5時過ぎ到着で、市内のホテルに着いたのが6時となりました。日本時間に比較しますと、4時間進んだことになります。

△10月18日（火）

午前、最初に訪問した「ニュージーランド地方自治体資金調達機関」、「オークランド市役所」においては、ニュージーランドの人口は約470万人で、その3分の1に当たる157万人がオークランドに住んでいて、人口もGDPも年々増加しているとのことでした。

主な財源は固定資産税とのことで、収納率も98%と高く、その要因は払えない場合は銀行からのローンで支払いしてもらうとのことです。特にオークランド市は固定資産税が高いために、リタイヤ後は田舎に移住するとのことで、ネットワーキング等で生計を立てるところもあり、田舎の人口減少も止まっているということでした。

資金調達機関は、北欧、ヨーロッパからのモデルで設立し、地方自治体が80%、20%が中央政府が出資し、日本も出資しているということでした。機関は利益追求団体ではないため、他銀行などよりも長期、低利で自治体に貸し付けしており、加盟地方自治体では債務不履行に陥った

ことがないということで、このシステムについては大変参考になりました。

昼食をスカイタワー内のレストランでとった後、午後に向かったのが、ノースワイカト地方ハンプトンダウンズ埋立地でした。法律により、リサイクルできないゴミは埋立て処分するとのことで、環境保全のために焼却はしないということでした。



ハンプトンダウンズ埋立地

△10月19日（水）

「オークランド観光・イベント・経済開発会社」を訪ねました。90%が税で民間の機関で、観光と経済が合体した形態となっていて、外からオークランド市に仕事とお金が入ってくるようになりますと目的。業務を受けることができる必須条件に、異業種を主体としたパートナーと一緒にやることがあり、様々なパートナーがいることで効果があるということでした。夏を中心とした観光シーズンは全く心配ないが、例えばオフシーズンとなる秋には、文化的なイベントを集中させたり、冬にはレストランを活用した食の提供をしたり、また、ゴルフ、乗馬、マリーン、スクリーン等々特殊プログラムを用意したりと、様々な取り組みを行っている。そして、ホテルの稼働率は80%で、慢性的なホテル不足であるとのことでした。

昼食は対岸のデボンポートというところのチャルトナムビーチに面したレストランで、食後はハーバーに出て班員で写真を撮つたり、土産店を物色したりして1日が終わりました。

夕食は港近くのシーフードレストランで、食後はハーバーに出て班員で写真を撮つたり、土産店を物色したりして1日が終わりました。



ハーバーから対岸の夜景を望む